

ダムが無くて安全・安心は確保できるのか …… 治水

膨大な事業経費の負担が待っている？

堤防だけで絶対安全はない！



利根川流域では平成10年に大利根町と北川辺町で、平成13年には加須市で台風
の洪水による漏水が発生しています。
川の近くに住む人しか知らない、ゾッと
する現実があるのです。

平成13年の台風15号による利根川の洪水では、加須市内で堤防からの漏水が発生。地元の消防団により釜段工（かまだんこう／漏水対策工法）が施行され事なきを得た。当時の水位は計画上の水位より約3m低かったが、堤防の下の砂の層から水が伝わった。

吾妻川には大規模な治水ダムがない！

吾妻川は流域面積が約1,370km²で、八斗島地点上流域の約4分の1を占めています。しかし、これまで吾妻川には大規模な治水ダムがありませんでした。

近年の天候は局地的に大量の雨を降らせることが特徴的。吾妻川流域への大雨に対応するため、八ツ場ダムの治水効果は軽視できません。さらに治水容量は利根川上流のダムの中では最大となる6,500万m³を誇ります。集積面積、治水容量ともに大きな効果が期待できます。



ダムに頼らない治水とは…

利根川河口部から八ツ場ダムまでの約240km区間を、河川の拡幅や掘削、堤防のかさ上げを行えば一定の治水効果は期待できるでしょう。しかし、そのためには用地買収による多くの家屋移転や橋りょうの改修などを伴い、膨大な費用や時間がかかることが予想されます。さらに地下水の汲み上げによって地盤沈下が進めば堤防のかさ上げが必要になり、定期的な川底の掘削なども含め膨大な事業経費を将来に渡って負担し続けなければならない現実が待っているのです。

今、八ツ場ダムを中止し将来にわたって大きな負担を背負うのか、現実を客観的に捉え最善の策を選択する必要があります。



埼玉県議会議員 神山 佐市 <Kamiyama Saichi>

総務県民生活委員 / 議会運営委員 / 暮らしの安心・安全対策特別委員

※神山佐市の政策や実績など、詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.kamiyama.ne.jp>